

2021年4月1日
日本銀行北九州支店

北九州・京築地区の金融経済概況

(2021年4月1日)

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<https://www3.boj.or.jp/kitakyushu/gaikyo/subgai.htm>)



1. 総論

北九州・京築地区の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状況にあるものの、基調としては持ち直している。3月短観（全産業）をみると、企業の業況判断は大幅に改善した。

最終需要の動向をみると、公共投資は、弱含んでいる。輸出は、持ち直している。設備投資は、持ち直している。個人消費は、全体としては弱い動きが続いているものの、基調としては持ち直している。住宅投資は、弱い動きとなっている。

こうした中で、生産は、持ち直している。雇用情勢をみると、労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。

【前回との比較】

項目	前回	今回	
景気判断	厳しい状況にあり、引き続き新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響がみられるものの、基調としては持ち直している。	<u>新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状況にあるものの、基調としては持ち直している。</u>	
需要項目	公共投資	堅調に推移している。	弱含んでいる。
	輸出	持ち直している。	持ち直している。
	設備投資	弱含んでいる。	<u>持ち直している。</u>
	個人消費	全体としては弱い動きが続いており、引き続き新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響がみられるものの、基調としては持ち直している。	<u>全体としては弱い動きが続いているものの、基調としては持ち直している。</u>
	住宅投資	弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。
生産	持ち直している。	持ち直している。	
雇用	労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。	労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。	

2. 需要項目別動向

公共投資は、弱含んでいる。

輸出は、持ち直している。

設備投資は、持ち直している。

3月短観における2021年度の設備投資は、前年を上回る計画となっている。

個人消費は、全体としては弱い動きが続いているものの、基調としては持ち直している。

食料品や日用品等の販売は引き続き堅調に推移しているほか、百貨店や商業施設では、新規感染者数が減少傾向にあるもとの、足もと客足は徐々に戻りつつある。この間、飲食業や旅行・観光関連業種では、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いている。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

3. 生産

生産は、持ち直している。

▽業種別生産動向

鉄鋼	高炉	着実に持ち直している。
	電炉	弱い動きとなっている。
化学		高水準で推移している。
セメント		持ち直している。
住設機器		持ち直している。
電気機械		緩やかに増加している。
電子部品		緩やかに増加している。
自動車		半導体の供給制約等の影響が一部で見られるものの、基調としては持ち直している。

4. 雇用

雇用情勢をみると、労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。

5. 物価

消費者物価（除く生鮮食品、北九州市）は、前年を下回っている。

6. 企業倒産

企業倒産をみると、落ち着いた動きとなっている。

7. 金融情勢

実質預金残高、貸出金残高は、新型コロナウイルス感染症の影響による法人資金需要の高まり等を背景に、前年を上回って推移している。

以 上